

## MRI 検査についてご存知ですか？

病院では身体を調べるために様々な検査があります。MRI 検査も数多い検査の中のひとつです（RI 検査と混同してしまうため MR 検査という場合もあります）。経験のない方はどんな検査をするのか、MRI という名称からは想像もつかないと思います。ここではあらゆる部位に有用な MRI 検査を紹介します。

### ・ MRI とは

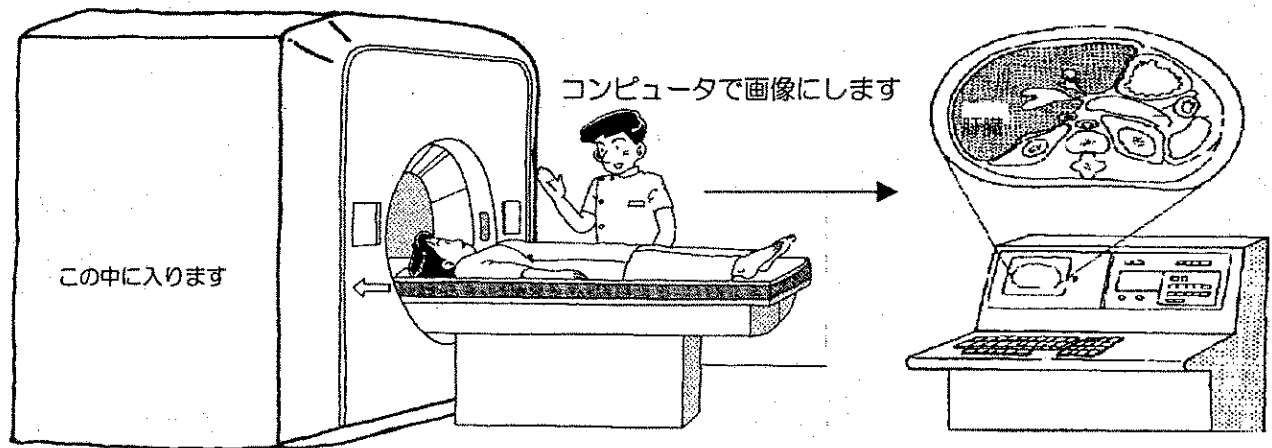
MRI は Magnetic Resonance Imaging の略で、普通は磁気共鳴画像診断装置のことです。X 線や超音波などは使用せず磁石から発生する「磁場」と「電波」で体内から情報を取り、これを「コンピュータ」で画像にする検査です。当院の MRI 装置の磁石は 1.5 テスラの磁場強度を持っています。ピックアップエレキバンが 800 ガウス(0.08 テスラ)ですので、いかに強力な磁石を使用しているか想像できます。

### ・ MR で人体の何を見ているのか

人体の 90% は水素原子から構成される水と脂肪です。そこで MR は水素原子の情報を画像化して人体の状態を見えています。具体的には、頭部や脊髄・脊椎、子宮・卵巣、関節など、動きの少ない部位が得意ですが、胸腹部、心臓、消化器分野など、全身部位で広く有用性を発揮します。

### ・ 検査の流れ

基本的には①検査着に着替える②撮影台に寝て磁石の中に入る③動かず安静にしている、で検査は終わります。検査時間は数年前では 1 時間程度かかっていましたが、最新装置を備える当院では 20 分程度です（検査する部位や内容、あるいは造影剤を注射することにより時間が変わります）。



### ・ 注意点

大きな磁場を持った円筒内に入るので金属は身につけて検査できません（大丈夫なものもあります）。

磁気カード類や時計は使えなくなってしまうことがあります。特に心臓のペースメーカーをつけた方は、磁場の影響で正常動作をしなくなる恐れがあるので検査はできません。また、閉所恐怖症の方は検査が困難な場合があります。

♪「多摩南ミニ通信」をご希望の方は  
 面会受付にお申し出ください。♪

今年度当院では、画像診断装置 6 台（MRI・多目的血管連続撮影装置・一般撮影装置 2 台・乳房 X 線撮影装置・デジタルガンマカメラ）を更新し、最新の設備を備えました。その中から今回は、MRI についてご紹介いたしました。

各種検査は主治医の指示がないと受けられません。わからないことは、主治医か放射線技師までお尋ねください。

